

河川関係の評価項目調書

河川事業の事後評価項目調書

事業名（箇所名）	江の川下流水防災対策特定河川事業（吾郷地区 ^{あごう} ）		事業主体	中国地方整備局					
実施箇所	島根県邑智郡美郷町吾郷								
該当基準	事業完了後一定期間（5年以内）が経過した事業								
事業諸元	事業延長：L=760m 宅地嵩上げ：27戸								
事業期間	平成14年度～平成19年度								
総事業費（億円）	当初	約17億円			最終	約26億円			
目的・必要性	<ul style="list-style-type: none"> 吾郷地区は、江の川下流部（46K400～48K000 右岸）に位置し、昭和47年7月洪水では地区全体の24戸で浸水被害が発生 近年（平成11年6月洪水等）においても浸水被害が発生 地盤高がHWLよりも低く流下能力が不足しているため、流下能力向上のための治水対策が必要。また、河川特性上、通常の堤防方式では堤防延長が長く、さらに築堤高が高くなるため、膨大な費用と年数が必要となり、事業効果発現に時間を要する。 そのため、宅地の盛土、家屋の嵩上げによる水防災対策特定河川事業を実施することにより、治水安全度を向上させる 								
便益の主な根拠	想定年平均浸水軽減戸数：3戸 想定年平均浸水軽減面積：1.0ha								
事業全体の投資効率性		B:総便益（億円）	C:総費用（億円）	B/C	B-C	EIRR(%)	基準年度		
	当初	総便益	31	総費用	16	1.9	15	—	H14
	事後	総便益	49	総費用	35	1.3	14	—	H24
事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施により、1/30規模の洪水が発生した場合においても、家屋の浸水被害を防止 								
事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 								
社会情勢等の変化	<ul style="list-style-type: none"> 吾郷地区では宅地嵩上げによる手法を用いることで、これまでと同等以上（治水安全度の向上、従前の宅地面積の確保等）の生活基盤が確保された。 美郷町の人口・世帯数は減少しているが、水防災対策特定河川事業の実施により、吾郷地区においては、新たに若者定住住宅が建設され8世帯（37人）が移り住んだ。 若者定住住宅には、中学生以下の子供が21人住居しており、夏祭りに子供が参加するなど事業実施前と比較して地域活動が活性化した。 								
今後の事後評価の必要性	<ul style="list-style-type: none"> 1/30規模の洪水が発生しても家屋の浸水被害を防止することができ、治水安全度の向上が図られていることから、今後の事後評価の必要性はないと判断 								
改善措置の必要性	<ul style="list-style-type: none"> 当該事業は、その事業効果が十分発現していると判断され、今後の改善措置の必要性は無いと判断 								
同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 								
対応方針（案）	<ul style="list-style-type: none"> 上記の検討結果を踏まえ、対応なし 								
対応方針理由	—								
その他	—								

江の川下流 水防災対策特定河川事業(吾郷地区) 事後評価

国土交通省 中国地方整備局

平成25年3月7日

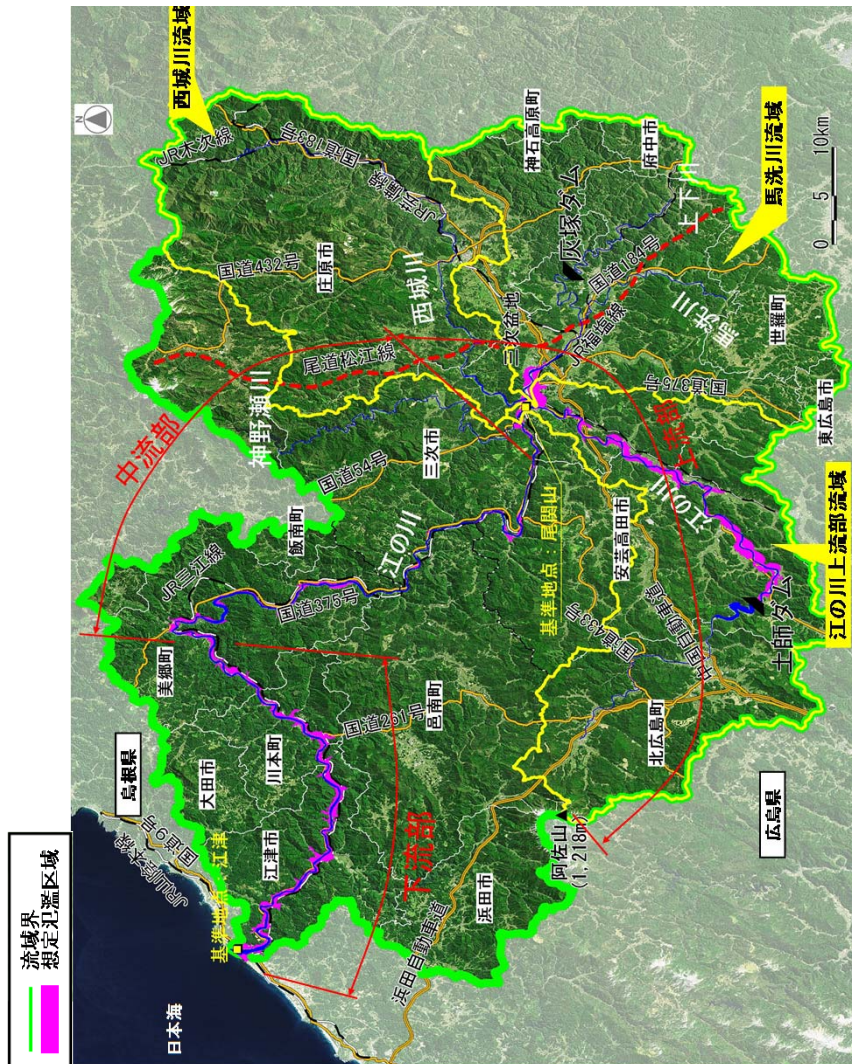
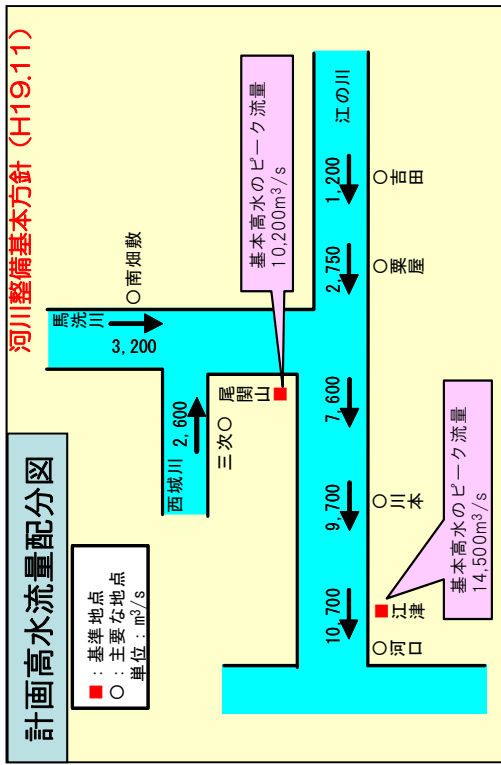
江の川流域の概要



■江の川流域の諸元

江の川は、広島県北広島町阿佐山に源を發し、三次市において馬洗川、西城川、神野瀬川を三方より合流し、山間狭隘部を流れ、河口の江津市街地を貫流し日本海に注ぐ、流域面積3,900km²、幹川流路延長194kmの中国地方最大の一級河川で、「中国太郎」の別名を持つ。

- ◎流域面積 : 3,900 km²
- ◎幹川流路延長 : 194 km
- ◎山地面積比率 : 約 92%
- ◎関係市町村 : 8市7町
(島根県: 江津市、川本町、美郷町、邑南町 他)
(広島県: 三次市、安芸高田市 他)
- ◎流域内人口 : 約18.4万人
(河川現況調査(第9回H17基準)より)



主な洪水被害

- **昭和20年9月洪水 (台風)**
江津地点推定流量：約7,300m³/s (推定値)
尾関山地点推定流量：約5,000m³/s (推定値)
家屋浸水：68,536棟, 家屋損壊：8,183棟
- **昭和40年6月洪水 (梅雨前線)**
尾関山地点流量：約4,400m³/s (実測値)
家屋浸水：1,006戸, 家屋損壊：8戸
- **昭和40年7月洪水 (梅雨前線)**
尾関山地点流量：約4,800m³/s (実測値)
家屋浸水：4,586戸, 家屋損壊：100戸
- **昭和47年7月洪水 (梅雨前線)**
江津地点流量：約10,200m³/s (実測値)
尾関山地点流量：約6,900m³/s (実測値)
家屋浸水：14,063戸, 家屋損壊：3,960戸
- **昭和58年7月洪水 (梅雨前線)**
江津地点流量：約7,500m³/s (実測値)
尾関山地点流量：約4,600m³/s (実測値)
家屋浸水：3,517戸, 家屋損壊：206戸
- **平成22年7月豪雨 (梅雨前線)**
江津地点流量：約5,800m³/s (実測値)
尾関山地点流量：約3,700m³/s (実測値)
家屋浸水：57戸, 家屋損壊：0戸

上記流量の実測値は各観測所でのH-Q換算流量、推定値は流出解析による計算流量を示す。

■ 江の川における主な治水対策は、昭和49年に土師ダム、平成18年に灰塚ダムが完成し、近年では、平成21年に尾原地区(川本町)の築堤事業、平成23年に近原地区(江津市)の水防災害事業が完了した。



尾原地区の築堤事業



近原地区の水防災害事業

■ 江の川における治水計画の変遷

昭和20年9月洪水

昭和28年に直轄河川改修に着手
計画高水流量：5,800m³/s (尾関山)

昭和40年6月洪水
昭和40年7月洪水

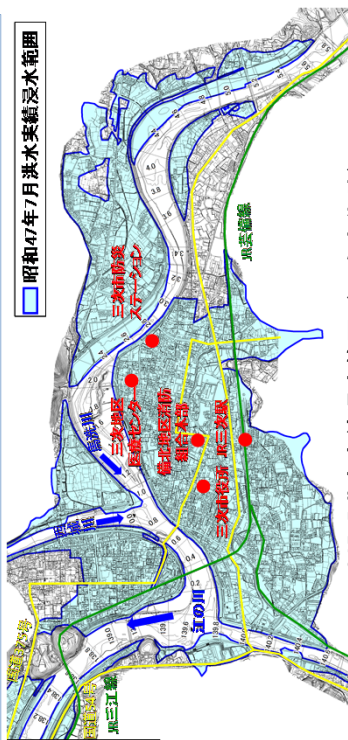
昭和40年6月洪水、昭和40年7月洪水等の大洪水が頻発し、昭和41年に流量改定
基本高水流量：7,600m³/s, 計画高水流量：5,800m³/s (尾関山)
(土師ダムを建設 S49完成：国土交通省)

昭和47年7月洪水

昭和41年に既定計画を踏襲し一級河川に指定
度重なる洪水被害を受け昭和48年に流量改定
基本高水流量：14,200m³/s, 計画高水流量：10,700m³/s (江津)
基本高水流量：10,200m³/s, 計画高水流量：7,600m³/s (尾関山)
(灰塚ダムを建設 H18完成：国土交通省)

平成9年河川法改正に伴い、平成19年11月に『江の川水系河川整備基本方針』を策定

■ 昭和47年7月に発生した洪水では、堤防決壊が2箇所発生するとともに、山間狭隘部の多数の集落で越水が発生し、甚大な被害が生じた。

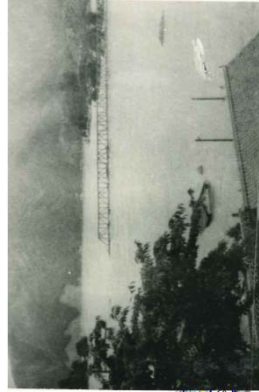


□ 昭和47年7月洪水実績浸水範囲

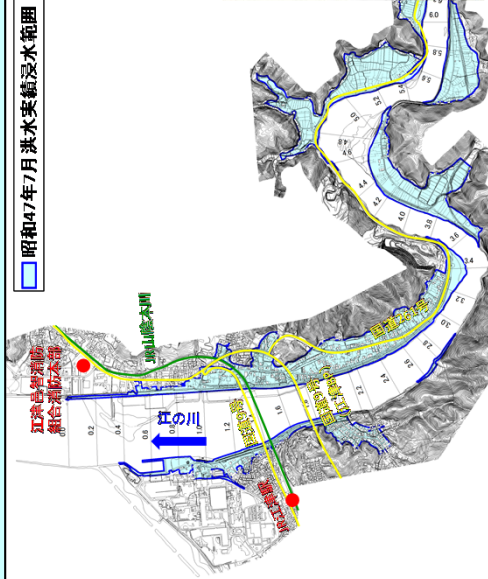
S47.7洪水実績浸水範囲 (三次市街地)



S58.7洪水 (江津市桜江町)



S47.7洪水 (江津市桜江町)



□ 昭和47年7月洪水実績浸水範囲

S47.7洪水実績浸水範囲 (江津市街地)

水防災対策特定河川事業の概要

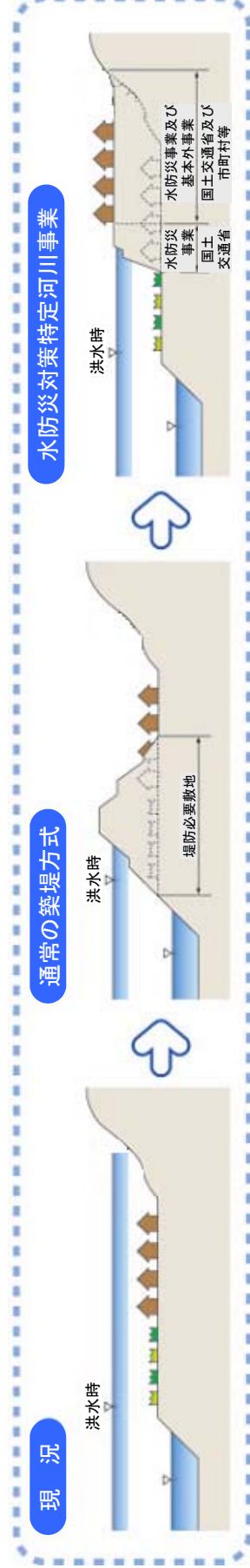
【事業の背景】

- ①山と山との間に点在するごく僅かな平地に小集落を形成
→治水対策必要箇所が多数点在
- ②河川特性上、通常の堤防方式では堤防延長も長く、築堤高も高くなるため、膨大な費用と年数が必要
→事業効果発現に時間を要す。
- ③通常の堤防方式の改修では、貴重な住環境が消滅すると共に、堤防と背後の急峻な山に囲まれた窪地に家屋が挟まれる。
→居住環境の悪化



【山間部を流れる江の川と点在する集落】
(美郷町：40k～42k周辺)

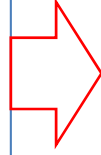
対象地区において、想定する洪水水位まで宅地等のかさ上げを行うことにより、治水の安全度を確保しつつ、山間部の狭い土地の有効利用を図る。



【水防災対策特定河川事業のイメージ図】

【目的・必要性】

- 昭和47年7月洪水では地区全体の24戸で浸水被害が発生
- 近年(平成11年6月洪水等)においても浸水被害が発生
- 集落地盤高がHWLよりも低く流下能力が不足しているため、**流下能力向上のため治水対策が必要**
- 河川特性上、通常の堤防方式では堤防が長く大きくなり、膨大な費用と年数が必要となり、**事業効果発現に時間を要する。**



対応策として、吾郷地区の水防事業を実施

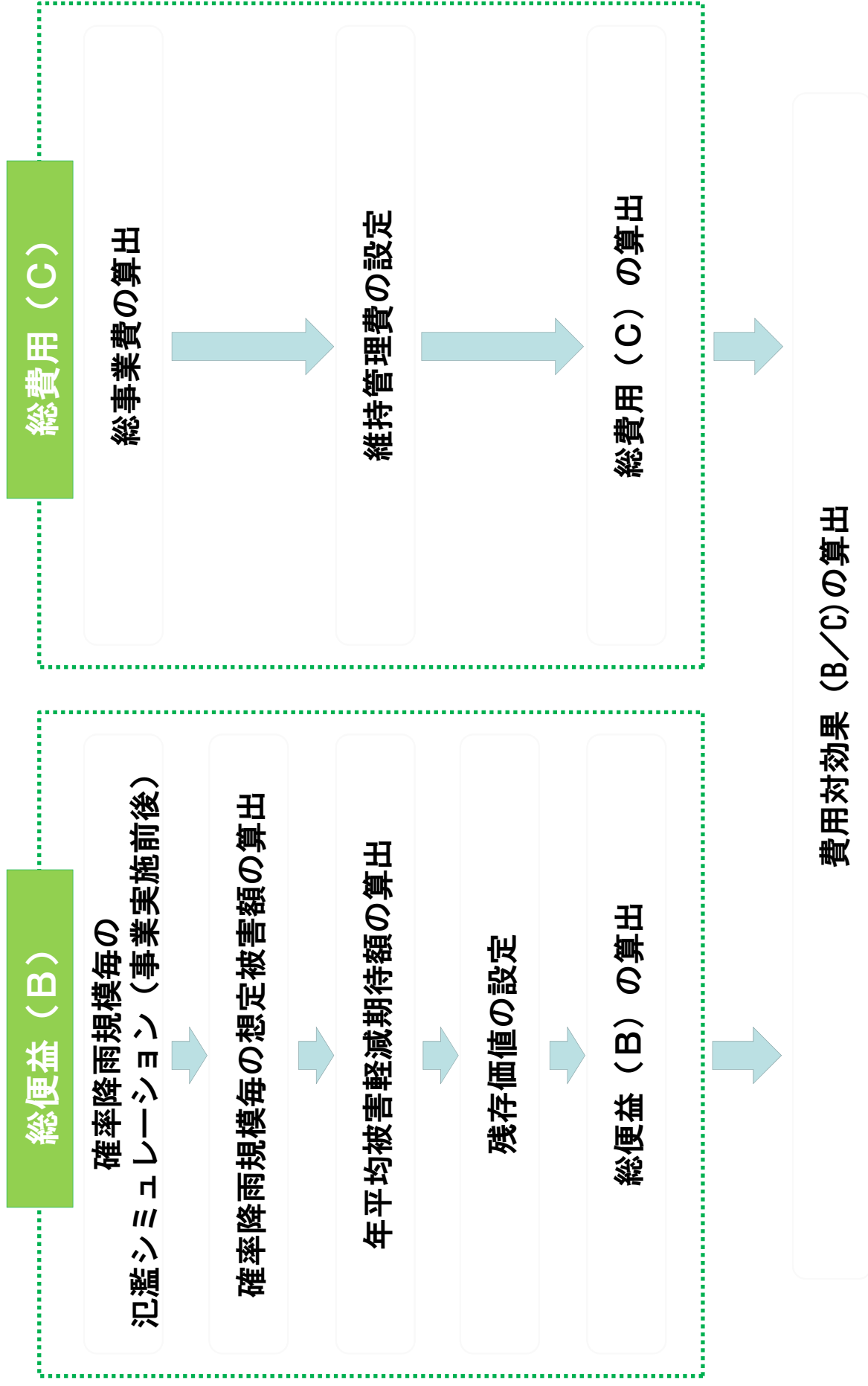


災害名	被害	
	浸水面積 (ha)	浸水家屋数 (戸)
昭和47年7月洪水	23.6	24
昭和58年7月洪水	5	3
平成11年6月洪水	3.8	2

S47洪水は床上・床下浸水の分類が不明
S58洪水、H11洪水は床下浸水

費用対効果検討手法の概要

費用対効果 (B/C) の算出の流れ

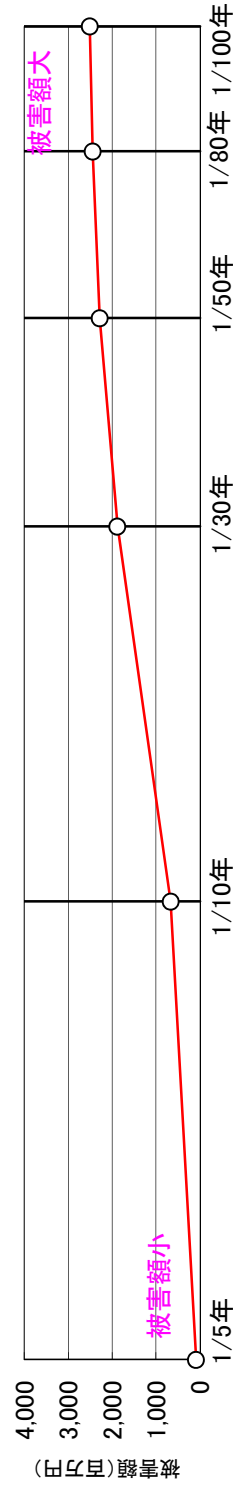
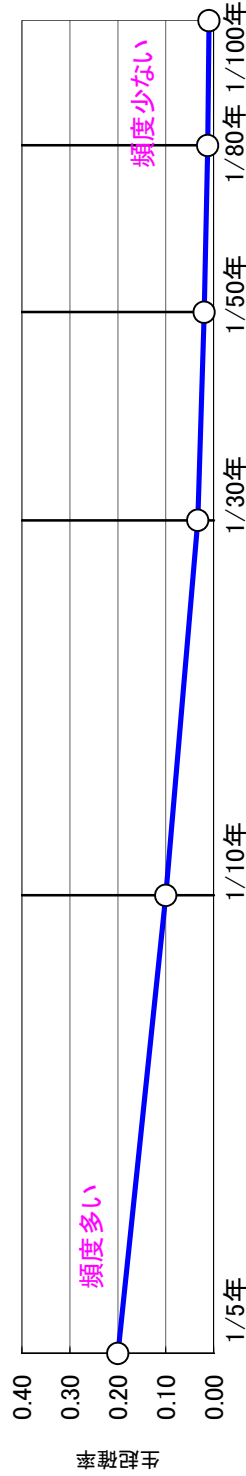


■ 便益の算出手法～年平均被害軽減期待額の算出手法～

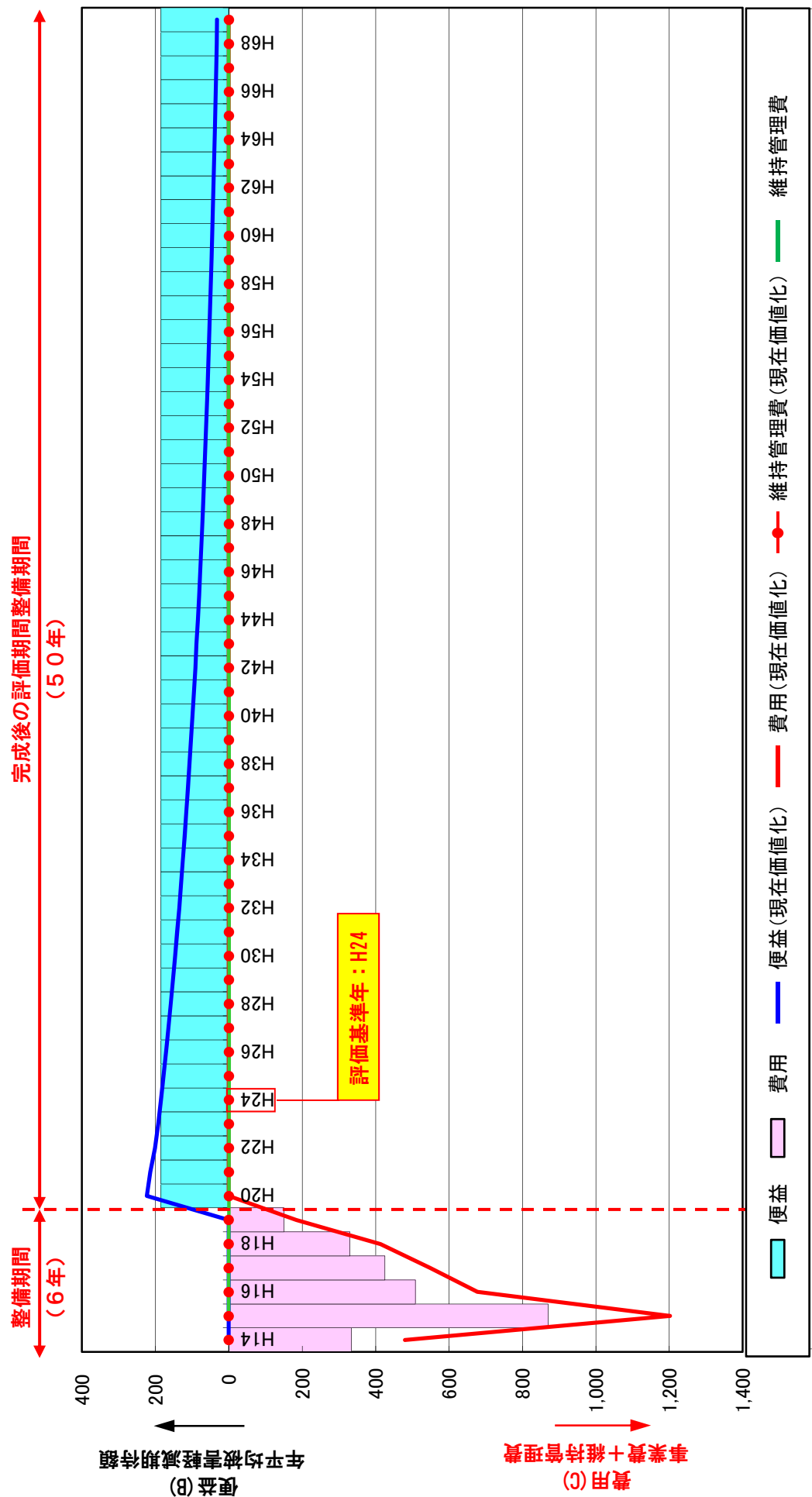
- 計画規模 1/100年確率を最大として7ケース検討
- 年平均被害軽減期待額は約1.9億円

(単位:百万円)

確率規模	超過確率	被害額			年間平均被害額の累計 =年平均被害軽減期待額
		事業を実施しない場合 ①	事業を実施した場合 ②	被害軽減額 (①-②) ③	
1/2	0.50000	0	0	0	0
1/5	0.20000	88	0	88	13
1/10	0.10000	664	3	661	50
1/30	0.03333	1,880	3	1,877	135
1/50	0.02000	2,282	4	2,278	163
1/80	0.01250	2,443	245	2,198	180
1/100	0.01000	2,509	464	2,045	185



便益及び費用の経年変化



費用対効果の算出結果

■費用対効果の算出結果は、 $B/C = 1.3$ ， $B-C = 13.9$ 億円

費用対効果算出結果

項目	内 訳	金 額	備 考
便 益	年平均被害軽減期待額	1.9億円	
	便 益	48.5億円	現在価値
	残 存 価 値	0.7億円	
	総 便 益 (B)	49.2億円	便益＋残存価値
費 用	建 設 費	35.1億円	現在価値
	維 持 管 理 費	0.2億円	現在価値
	総 費 用 (C)	35.3億円	建設費＋維持管理費
費用対効果	費用対効果 (B/C)	1.3	
	費用対効果 (B-C)	13.9億円	

注)：算出に際しては、『治水経済調査マニュアル(案)』平成17年4月に準じている
 注)：端数処理のため、各項目の金額の和は、必ずしも合計値とはならない

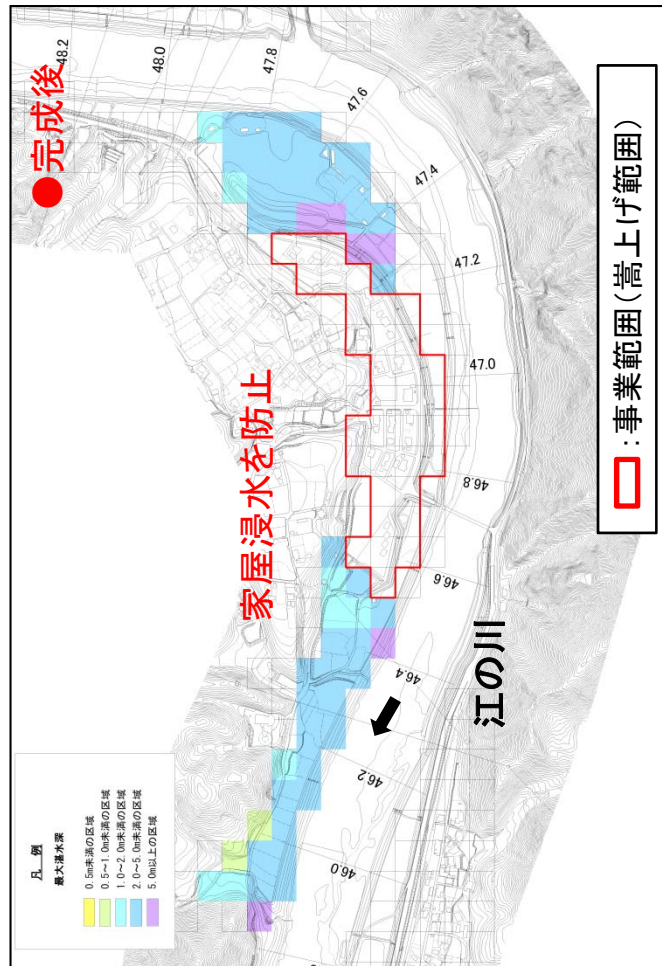
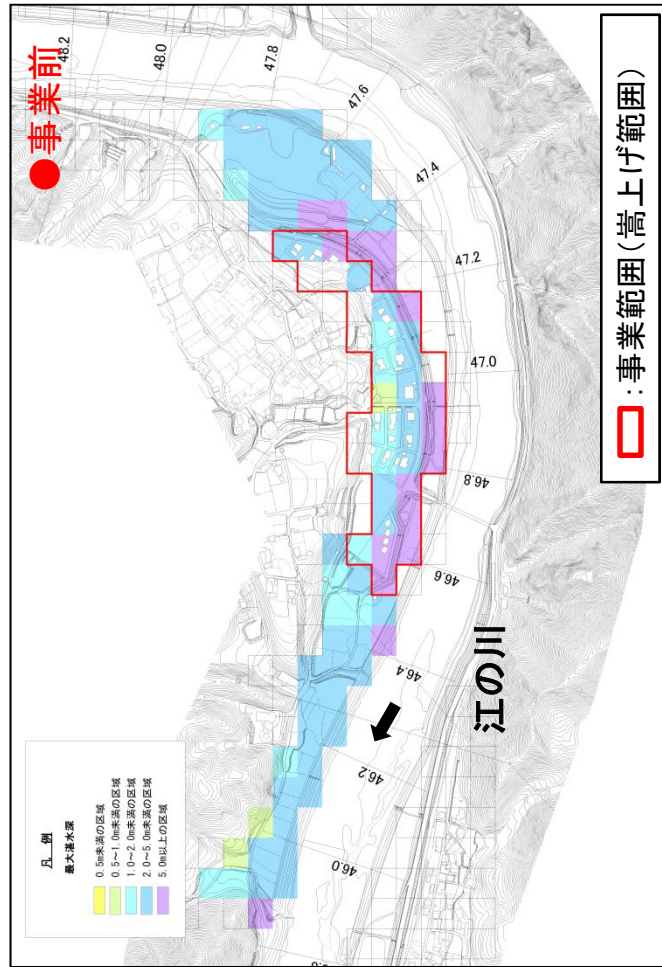
■ 江の川下流水防災対策特定河川事業の事業効果の事例

■ 事業の実施により、1/30規模の洪水が発生した場合に、家屋の浸水被害を防止できる。

項目	嵩上げ		軽減分
	事業前	事業後	
被害状況	床上浸水	24戸	24戸
	床下浸水	0戸	0戸
	浸水面積	7ha	0ha
			7ha

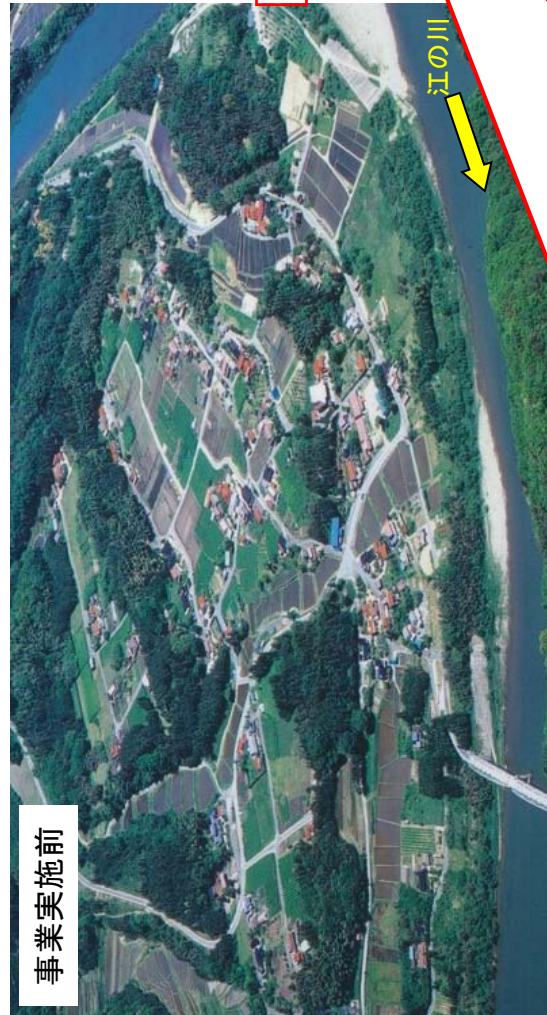
※被害状況を算定した資産数量は現在（H24年10月時点）の状況

1/30規模の洪水が発生した場合



社会情勢等の変化

- 水防対策特定河川事業の実施により、新たに若者定住住宅が建設され8世帯(37人)が移り住んでいる。
- 若者定住住宅には、中学生以下の子供が21人住居しており、夏祭りに子供が参加するなど事業実施前と比較して地域活動が活性化



島根県美郷発 ニュータイプ町営住宅

～広い敷地に一戸建て～

住み心地は 家族がいきい

吾郷ニュータウン(8戸) 入居者募集

石原ニュータウン(4戸)

「子供たちがのびのび暮らせる町」子育ては恵まれた住環境を選ぶことから... 子供を安心して育てるためには最適な環境です。自然環境を自由な発想から「ニュータイプ」美郷町は住む家だけでなく、子育てに必要ないろいろな配慮をします。

概要説明

- 家賃 月額30,000円
- 宅地面積は400㎡以上、家庭菜園もできる広さ。
- 木造平屋建て(日本瓦・切妻式)
- 床面積は95㎡程度、生活設計(ライフプラン)に合わせて、増築などでもできます。
- 専業主婦取りパターンの中から入居者が自由に選択できます。
- 募集締切 平成21年8月31日(郵送の場合は当日消印まで)

入居要件

- 40才以下のご夫婦で小学生以下の子供さんかいるご家族。(母子手帳取得者も含む)
- 20年以上引き続き居住していただける方。

吾郷地区の事業を実施したことによって美郷町の定住・U・ターン施策のひとつとして若者定住住宅が建てられ、8世帯37人が居住(町)による造成)

吾郷大橋下流部の若者定住住宅
吾郷ニュータウンの住居者内訳

項目	人数
高校生以上	16人
中学生以下	21人
合計	37人
町内町外から	町内より移転 14人
の移転者内訳	町外より移転 23人
合計	37人



①費用対効果分析の算定基礎となった要因（費用、施設の利用状況、事業期間等）の変化

- ・全体事業費 … 約17億円（当初） → 約26億円
- ・工期 … 4年間（当初） → 6年間（平成14年度～平成19年度）
- ・費用対効果 … $B/C = 1.9$ → $B/C = 1.3$

②事業効果の発現状況

- ・事業の実施により、1/30規模の洪水が発生した場合でも、家屋の浸水被害を防止できる。

③事業実施による環境の変化

- ・特になし。（平水位より上での事業実施であり、水面下の作業を伴わないため、河川環境には影響がない）

④社会情勢の変化

- ・吾郷地区では宅地嵩上げによる手法を用いることで、これまでと同等以上（治水安全度の向上、従前の宅地面積の確保等）の生活基盤が確保された。
- ・美郷町の人口・世帯数は減少しているが、水防対策特定河川事業の実施により、吾郷地区においては新たに若者定住住宅が建設され8世帯（37人）が移り住んだ。
- ・若者定住住宅には、中学生以下の子供が21人住居しており、夏祭りに子供が参加するなど事業実施前と比較して地域活動が活性化した。

⑤今後の事後評価の必要性

- ・1/30規模の洪水が発生しても家屋の浸水被害を防止することができ、治水安全度の向上が図られていることから、今後の**事後評価の必要性は無いと判断**

⑥改善措置の必要性

- ・当該事業は、その事業効果が十分発現していると判断され、今後の**改善措置の必要性は無いと判断**

⑦同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

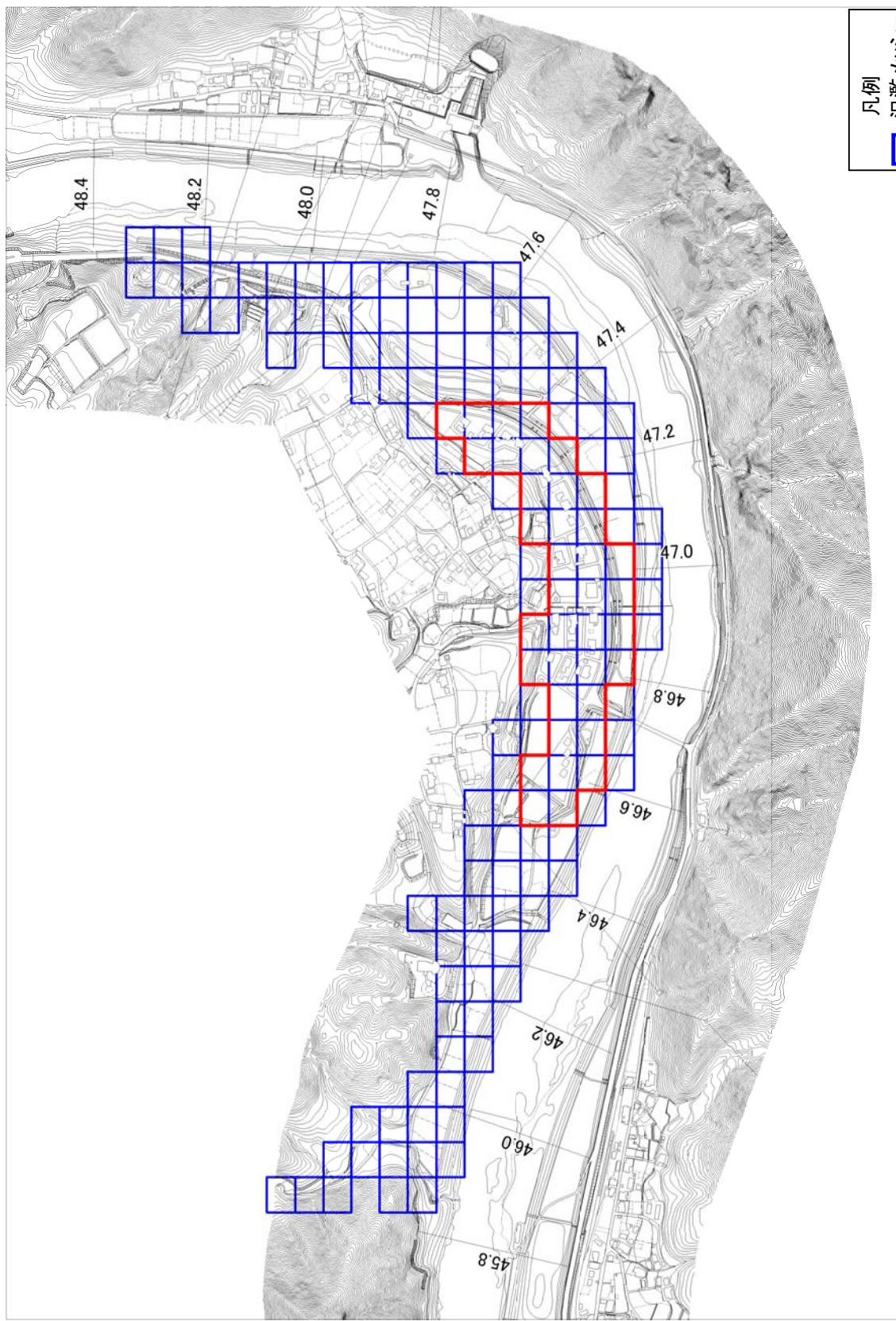
- ・特になし

【対応方針（案）】 上記の検討結果を踏まえ、**『対応なし』**

	評価時点		備考
	新規採択時 (平成14年)	今回事後評価時 (平成24年)	
事業諸元	事業延長：L=600m 宅地嵩上げ：26戸	事業延長：L=760m 宅地嵩上げ：27戸	<ul style="list-style-type: none"> ■事業範囲見直しに伴い嵩上げ対象家を1戸追加
事業期間	平成14年度～平成17年度	平成14年度～平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> ■事業範囲見直し、道路線形の変更に伴う堤防法線の変更 ■宅地盛土部の軟弱地盤対策
全体事業費	約 17 億円	約 26 億円	<ul style="list-style-type: none"> ■築堤、護岸、家屋補償費が増加
総便益 (B)	約 31 億円	約 49 億円	<ul style="list-style-type: none"> ■評価時点の変更 □資産単価の更新 (H14→H24) <ul style="list-style-type: none"> ・一般資産額 ・農作物資産 等 □デフレクター(総合物価指数)適用 □社会的割引率
総費用 (C)	約 16 億円	約 35 億円	<ul style="list-style-type: none"> ■評価時点の変更 □デフレクター(治水事業費指数)適用 □社会的割引率 ■全体事業費の増加
費用対効果 (B/C)	1.9	1.3	

江の川下流水防災対策特定河川事業（吾郷地区）

〔費用便益比（B／C）算定等資料〕



凡例

汎濫メッシュ

整備箇所

様式一 汎濫ブロック図

様式-2 汎濫ブロック 番号	資産子ータ ブロック面 積(km ²)	水系名: 江の川			河川名: 江の川			国勢調査年: 平成17年			事業所統計調査年: 平成18年								
		人口 (人)	世帯数 (世帯)	従業者数 (人)	一般資産等基礎数量	水田面積 (ha)	畑面積 (ha)	家屋	家庭用品	一般資産額(百万円)	事業所資産 償却資産	農漁業資産 在庫資産	農作物資産額(百万円)	小計	一般資産 総額合計 (百万円)				
08-R2	0.395	63	24	0	2	3.257	4	5	550,399	351,672	0	0	4,046	1,053	907,170	4,232	12,904	17,136	924,306

様式-3 被害額(事業実施前) 水系名:江の川 河川名:江の川 流量規模:1/5 (千円)

氾濫ブロック		一般資産被害額								農作物被害額			公共土木施設等被害額	直接被害額合計	営業停止損失	家庭における応急対策費用			事業所における応急対策費用	その他の間接被害	小計	合計
番号	地先名	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物	小計	清掃労働対価				代替活動等の出費	小計					
				償却	在庫	償却	在庫															
08-R2	吾郷	25,314	8,059	0	0	79	28	33,481	0	937	937	52,398	86,816	0	372	441	813	0	0	813	87,629	

様式-3 被害額(事業実施前) 水系名:江の川 河川名:江の川 流量規模:1/10 (千円)

氾濫ブロック		一般資産被害額								農作物被害額			公共土木施設等被害額	直接被害額合計	営業停止損失	家庭における応急対策費用			事業所における応急対策費用	その他の間接被害	小計	合計
番号	地先名	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物	小計	清掃労働対価				代替活動等の出費	小計					
				償却	在庫	償却	在庫															
08-R2	吾郷	149,883	104,043	0	0	514	192	254,992	610	2,101	2,711	399,062	656,765	0	3,648	3,633	7,281	0	0	7,281	664,046	

様式-3 被害額(事業実施前) 水系名:江の川 河川名:江の川 流量規模:1/30 (千円)

氾濫ブロック		一般資産被害額								農作物被害額			公共土木施設等被害額	直接被害額合計	営業停止損失	家庭における応急対策費用			事業所における応急対策費用	その他の間接被害	小計	合計
番号	地先名	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物	小計	清掃労働対価				代替活動等の出費	小計					
				償却	在庫	償却	在庫															
08-R2	吾郷	444,532	278,451	0	0	1,307	430	724,720	1,049	2,395	3,444	1,134,187	1,862,351	0	10,293	7,494	17,788	0	0	17,788	1,880,139	

様式-3 被害額(事業実施前) 水系名:江の川 河川名:江の川 流量規模:1/50 (千円)

氾濫ブロック		一般資産被害額								農作物被害額			公共土木施設等被害額	直接被害額合計	営業停止損失	家庭における応急対策費用			事業所における応急対策費用	その他の間接被害	小計	合計
番号	地先名	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物	小計	清掃労働対価				代替活動等の出費	小計					
				償却	在庫	償却	在庫															
08-R2	吾郷	544,089	334,044	0	0	1,642	529	880,305	1,162	2,824	3,986	1,377,677	2,261,968	0	12,193	8,034	20,227	0	0	20,227	2,282,195	

様式-3 被害額(事業実施前) 水系名:江の川 河川名:江の川 流量規模:1/80 (千円)

氾濫ブロック		一般資産被害額								農作物被害額			公共土木施設等被害額	直接被害額合計	営業停止損失	家庭における応急対策費用			事業所における応急対策費用	その他の間接被害	小計	合計
番号	地先名	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物	小計	清掃労働対価				代替活動等の出費	小計					
				償却	在庫	償却	在庫															
08-R2	吾郷	595,165	344,814	0	0	1,966	629	942,575	1,323	3,020	4,342	1,475,130	2,422,047	0	12,792	8,170	20,962	0	0	20,962	2,443,009	

様式-3 被害額(事業実施前) 水系名:江の川 河川名:江の川 流量規模:1/100 (千円)

氾濫ブロック		一般資産被害額								農作物被害額			公共土木施設等被害額	直接被害額合計	営業停止損失	家庭における応急対策費用			事業所における応急対策費用	その他の間接被害	小計	合計
番号	地先名	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物	小計	清掃労働対価				代替活動等の出費	小計					
				償却	在庫	償却	在庫															
08-R2	吾郷	616,954	348,507	0	0	2,040	658	968,159	1,370	3,020	4,390	1,515,169	2,487,718	0	13,128	8,239	21,367	0	0	21,367	2,509,085	

様式-3 被害額(事業実施後) 水系名:江の川 河川名:江の川 流量規模:1/5 (千円)

氾濫ブロック		一般資産被害額						農作物被害額			公共土木施設等被害額	直接被害額合計	営業停止損失	家庭における応急対策費用			事業所における応急対策費用	その他の間接被害	小計	合計	
番号	地先名	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物				小計	清掃労働対価	代替活動等の出費					小計
				償却	在庫	償却	在庫														
08-R2	吾郷	0	0	0	0	16	6	22	0	312	312	34	368	0	0	0	0	0	0	0	368

様式-3 被害額(事業実施後) 水系名:江の川 河川名:江の川 流量規模:1/10 (千円)

氾濫ブロック		一般資産被害額						農作物被害額			公共土木施設等被害額	直接被害額合計	営業停止損失	家庭における応急対策費用			事業所における応急対策費用	その他の間接被害	小計	合計	
番号	地先名	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物				小計	清掃労働対価	代替活動等の出費					小計
				償却	在庫	償却	在庫														
08-R2	吾郷	0	0	0	0	95	32	126	610	1,580	2,190	197	2,513	0	0	0	0	0	0	0	2,513

様式-3 被害額(事業実施後) 水系名:江の川 河川名:江の川 流量規模:1/30 (千円)

氾濫ブロック		一般資産被害額						農作物被害額			公共土木施設等被害額	直接被害額合計	営業停止損失	家庭における応急対策費用			事業所における応急対策費用	その他の間接被害	小計	合計	
番号	地先名	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物				小計	清掃労働対価	代替活動等の出費					小計
				償却	在庫	償却	在庫														
08-R2	吾郷	0	0	0	0	166	51	218	1,049	1,874	2,923	341	3,482	0	0	0	0	0	0	0	3,482

様式-3 被害額(事業実施後) 水系名:江の川 河川名:江の川 流量規模:1/50 (千円)

氾濫ブロック		一般資産被害額						農作物被害額			公共土木施設等被害額	直接被害額合計	営業停止損失	家庭における応急対策費用			事業所における応急対策費用	その他の間接被害	小計	合計	
番号	地先名	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物				小計	清掃労働対価	代替活動等の出費					小計
				償却	在庫	償却	在庫														
08-R2	吾郷	0	0	0	0	169	53	222	1,176	1,896	3,072	347	3,641	0	0	0	0	0	0	0	3,641

様式-3 被害額(事業実施後) 水系名:江の川 河川名:江の川 流量規模:1/80 (千円)

氾濫ブロック		一般資産被害額						農作物被害額			公共土木施設等被害額	直接被害額合計	営業停止損失	家庭における応急対策費用			事業所における応急対策費用	その他の間接被害	小計	合計	
番号	地先名	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物				小計	清掃労働対価	代替活動等の出費					小計
				償却	在庫	償却	在庫														
08-R2	吾郷	64,163	27,372	0	0	485	157	92,177	1,323	2,667	3,990	144,257	240,424	0	1,468	2,696	4,165	0	0	4,165	244,589

様式-3 被害額(事業実施後) 水系名:江の川 河川名:江の川 流量規模:1/100 (千円)

氾濫ブロック		一般資産被害額						農作物被害額			公共土木施設等被害額	直接被害額合計	営業停止損失	家庭における応急対策費用			事業所における応急対策費用	その他の間接被害	小計	合計	
番号	地先名	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物				小計	清掃労働対価	代替活動等の出費					小計
				償却	在庫	償却	在庫														
08-R2	吾郷	104,647	71,228	0	0	750	269	176,894	1,370	2,876	4,246	276,839	457,979	0	2,459	3,942	6,401	0	0	6,401	464,380

様式一4 年平均被害軽減期待額 水系名：江の川 河川名：江の川 単位：百万円

確率規模	超過確率	被害額			区間平均被害額 ④	区間確率 ⑤	年平均被害額 ④×⑤	年平均被害額の累計 =年平均被害軽減期待額
		事業を実施しない場合 ①	事業を実施した場 合 ②	被害軽減額 (①-②) ③				
1/2	0.50000	0	0	0	--	--	0	
1/5	0.20000	88	0	88	44	0.300	13	
1/10	0.10000	664	3	661	375	0.100	50	
1/30	0.03333	1,880	3	1,877	1,269	0.067	135	
1/50	0.02000	2,282	4	2,278	2,078	0.0133	163	
1/80	0.01250	2,443	245	2,198	2,238	0.0075	180	
1/100	0.01000	2,509	464	2,045	2,122	0.0025	185	

様式-5 費用対便益 水系名：江の川 河川名：江の川

年次	年度	t	便 益 (B)				費 用 (C)						費用便益比 B/C	純現在価値 B-C
			便益①		残存価値 ②	計 ①+②	建設費③		維持管理費④		計③+④			
			便益	現在価値			費用	現在価値	費用	現在価値	費用	現在価値		
(6年) 整備期間	H14 整備開始	-10	0	0			334	480	0	0	334	480		
	H15	-9	0	0			870	1,202	0	0	870	1,202		
	H16	-8	0	0			508	678	0	0	508	678		
	H17	-7	0	0			425	548	0	0	425	548		
	H18	-6	0	0			330	413	0	0	330	413		
	H19 整備完了	-5	0	0			150	184	0	0	150	184		
施設完成後の評価期間 (50年)	H20	-4	185	223					1	1	1	1		
	H21	-3	185	214					1	1	1	1		
	H22	-2	185	201					1	1	1	1		
	H23	-1	185	192					1	1	1	1		
	H24 評価時点	0	185	185					1	1	1	1		
	H25	1	185	178					1	1	1	1		
	H26	2	185	171					1	1	1	1		
	H27	3	185	164					1	1	1	1		
	H28	4	185	158					1	1	1	1		
	H29	5	185	152					1	1	1	1		
	H30	6	185	146					1	1	1	1		
	H31	7	185	141					1	1	1	1		
	H32	8	185	135					1	1	1	1		
	H33	9	185	130					1	1	1	1		
	H34	10	185	125					1	1	1	1		
	H35	11	185	120					1	1	1	1		
	H36	12	185	116					1	1	1	1		
	H37	13	185	111					1	1	1	1		
	H38	14	185	107					1	1	1	1		
	H39	15	185	103					1	1	1	1		
	H40	16	185	99					1	1	1	1		
	H41	17	185	95					1	1	1	1		
	H42	18	185	91					1	0	1	0		
	H43	19	185	88					1	0	1	0		
	H44	20	185	84					1	0	1	0		
	H45	21	185	81					1	0	1	0		
	H46	22	185	78					1	0	1	0		
	H47	23	185	75					1	0	1	0		
	H48	24	185	72					1	0	1	0		
	H49	25	185	69					1	0	1	0		
	H50	26	185	67					1	0	1	0		
	H51	27	185	64					1	0	1	0		
	H52	28	185	62					1	0	1	0		
	H53	29	185	59					1	0	1	0		
	H54	30	185	57					1	0	1	0		
H55	31	185	55					1	0	1	0			
H56	32	185	53					1	0	1	0			
H57	33	185	51					1	0	1	0			
H58	34	185	49					1	0	1	0			
H59	35	185	47					1	0	1	0			
H60	36	185	45					1	0	1	0			
H61	37	185	43					1	0	1	0			
H62	38	185	42					1	0	1	0			
H63	39	185	40					1	0	1	0			
H64	40	185	39					1	0	1	0			
H65	41	185	37					1	0	1	0			
H66	42	185	36					1	0	1	0			
H67	43	185	34					1	0	1	0			
H68	44	185	33					1	0	1	0			
H69	45	185	32					1	0	1	0			
合 計			9,250	4,849	70	4,919	2,617	3,505	50	22	2,667	3,527	1.39	1,392

事業費の内訳書

河川事業

事業名	江の川下流水防災対策特定河川事業(吾郷地区)
-----	------------------------

評価年度	H24	事後評価
------	-----	------

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
工事費	本工事費		式	1	825	
			式	1	802	
		築堤	千m3	87.5	184	
		盛土	千m3	173.0	375	
		護岸	千m2	12.6	237	
		水路	式	1	6	
	附帯工事費		式	1	23	
		舗装工 県道	式	1	20	
用地費及び補償費			式	1	1,175	
	用地費		式	1	20	
	補償費		式	1	1,154	
間接経費等					617	
事業費 計					2,617	
維持管理費			式	1	50	